

報道関係者各位

2015 年 7 月 30 日

「富士山登山スタンプラリー2015」と「貯金箱プロジェクト支援」を実施
—スマートフォンアプリ、カード、Beaconなどを組み合わせた、
地域の魅力発信・活性化支援プラットフォーム「富士山じかん」を用いた実証実験—

慶應義塾大学 SFC 研究所
富士吉田市
富士吉田みんなの貯金箱財団
富士吉田市地域おこし協力隊

【概要】

慶應義塾大学 SFC 研究所（所長：小川克彦、担当：玉村雅敏研究室、場づくりマーケティング・コンソーシアム）と、富士吉田市（市長：堀内茂）、一般財団法人・富士吉田みんなの貯金箱財団（富士吉田市の市民財団。代表理事：齊藤智彦）、富士吉田市地域おこし協力隊（担当：齋藤萌）は、市民や地域団体、観光・商工事業者、大学生等が、地域の魅力発信や地域活性化に取り組む際に活用できるプラットフォーム「富士山じかん」を活用する実証実験プロジェクト（富士山じかんプロジェクト）を2014年度より推進しています。

本プロジェクトでは、2015年7月30日、iOSとAndroidで機能するスマートフォンアプリ「富士山じかんアプリ 2.0」をリリースしました。

※このアプリは、慶應義塾大学 SFC 研究所（場づくりマーケティング・コンソーシアム）による研究・企画に基づき、大日本印刷株式会社が開発を行った「まちなか回遊アプリ作成サービス」を用いるものです。

このアプリは、「ここにしかない時間」を実感できる数多くのスポットを紹介し、写真と地図を使った直感的なナビゲーションで、富士吉田・富士北麓地域を案内するものです。また、お勧めのコースや各種イベントの紹介なども行っています。

今回リリースする Ver.2.0 からは、スマートフォンの画面に表示させたスタンプ帳に、スタンプモジュールでタッチすることで押印が出来る機能や、Beacon 連動による Push 通知機能なども提供します。また、英語でのコンテンツ提供も行います。

同アプリを用いて、8月1日～8月31日の期間に、スマートフォンを用いた「富士山登山スタンプラリー2015」を実施します。このスタンプラリーは、富士山登山者がスマートフォンでスタンプラリーに参加できるもので、富士吉田商工会議所「富士山まちなか文化遺産を活用した観光商品開発」事業の協力を得て実施されます。

また、富士吉田みんなの貯金箱財団が実施する、市民活動を支援する「貯金箱プロジェクト」に関連して、Beacon 機能と連動させた、まちなか回遊時の情報提供の実験を行います。

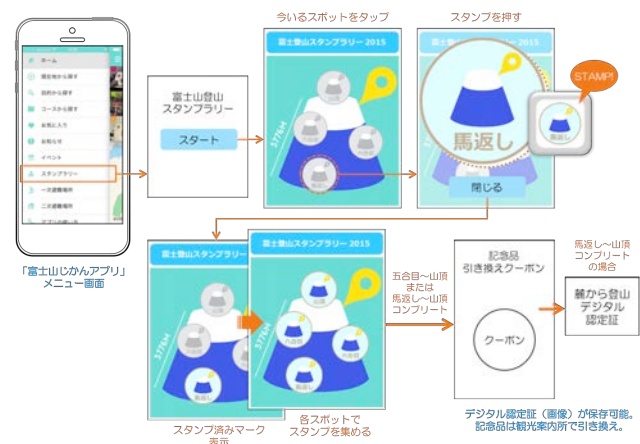
1. 「富士山登山スタンプラリー2015」について

(1) 概要

世界文化遺産構成資産である「吉田口登山道」を体験するスタンプラリーです。

スマートフォンアプリ「富士山じかんアプリ」をダウンロードすることで、スタンプラリーに参加することができます。スマートフォンの画面に表示させたスタンプ帳に、指定のスポットにて、スタンプモジュールでタッチすることでスタンプを集めることができます。

スタンプを集めて、スタンプラリーをコンプリートした後、富士吉田市内の観光案内所（富士山登山認定スポット）にて、記念品を受け取ることができます。



(2) 実施期間： 2015年8月1日(土)～8月31日(月)の1ヶ月間

(3) スタンプラリーのコース

吉田口登山道を「A. 麓(ふもと)から登山」「B. 五合目から登山」の2コースが設定されています。

A. 麓から登山コース

吉田口登山道の起点である北口本宮富士浅間神社から登山を開始し、一合目の手前「①馬返し」、そして「②六合目」「③八合目」「④山頂」の4つのスポットを巡るコースが設定されています。麓から登山をし、4つのスポットを巡り、スタンプを集めるとコンプリートです。

B. 五合目から登山コース

吉田口登山道を五合目から登山を開始し、「②六合目」「③八合目」「④山頂」の3つのスポットを巡るコースが設定されています。五合目からの登山をし、3つのスポットを巡り、スタンプを集めるとコンプリートです。

(4) スタンプスポット

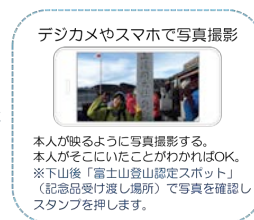
スタンプの設置場所は、吉田口登山道の4ヶ所です。

- ① 馬返しお休み処
- ② 六合目「富士山安全指導センター」
- ③ 八合目「太子館」
- ④ 富士山頂上 ※ 山頂では写真を撮影

※ スマートフォンの通信状況やスタンプが見つからない場合など、何らかの理由でスタンプが押せない場合は、そのスポットで本人が写っている写真を撮り、下山後に「富士山登山認定スポット」にて、写真を確認してスタンプを押します。



または



①馬返し(お休み処)



②六合目(安全指導センター)



③八合目(山小屋「太子館」)



④山頂

(5) 富士山登山認定スポット(記念品の受け渡し場所)

富士吉田市内の観光案内所(2ヶ所)：富士山駅観光案内所、道の駅富士吉田観光案内所

(参考) 富士山登山認定の記念品

オリジナルデザインTシャツ



馬返し～山頂のスタンプ4つ
コンプリートでプレゼント
(限定300枚)



六合目～山頂のスタンプ3つ
コンプリートで購入権利獲得
(500円で販売)

プレミアム
記念品
(希望者のみ)

デジタル富士山登山認定証 ※麓から登山コースのみ



富士山登山認定スポットで麓から登山の「認定印」を押すと
ダウンロードが可能に。その後、印刷も可能。

(参考) 富士吉田商工会議所「富士山まちなか文化遺産を活用した観光商品開発」事業とは？

世界文化遺産・富士山の門前町としての役割を果たしてきた富士吉田のまちなかに根ざしている、富士山の恵みが生み出してきた文化に関わる観光商品開発を推進し、「富士山のまちなか観光」を実現するためのプロジェクトです。

※ 日本商工会議所「平成27年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」に採択されています。

このプロジェクトでは、以下の活動に取り組んでいきます。

① 富士山の門前町観光

「門前町」に広がる富士信仰の歴史・文化（北口本宮富士浅間神社、御師の宿坊…）での経験価値を重視した観光商品開発。富士山信仰を支えた御師文化に触れる企画（御師の家で味わう料理や御師の街さんぽ）や、富士山の精進料理教室など。

② 富士山の産業文化観光（富士山の恵みが生んだ産業文化の観光）

富士山の豊かな水を背景とする織物産業や飲食文化、工場などでの経験価値を重視した観光商品開発。富士山の豊かな水を活かした工場の見学ツアーや、織物の工場見学・体験など。

③ 富士山のダウンタウン観光（富士山の恵みが生んだまちなかを楽しむ観光）

織物産業の最盛期に発展した昭和レトロなまちなかと食文化、富士山を望む景観などを経験する観光商品開発。昭和レトロなダウンタウンの夜を楽しむハシゴチケット、富士山オブショナルツアーなど。

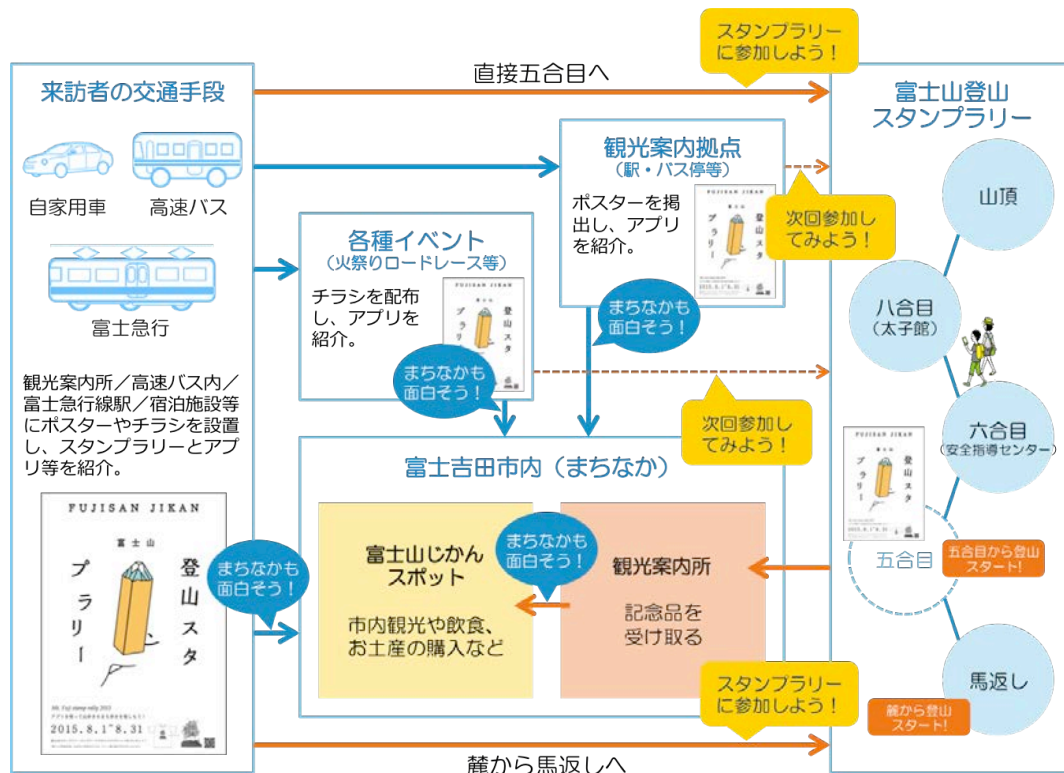
④ 富士山のホームタウン観光（富士山を自分のホームタウンにする観光）

かつての富士講のように、定期的に通う「自分の街」として、富士吉田に繰り返し訪れるきっかけを生み出す観光商品開発。季節毎に富士山を楽しむことが出来るツアー、ウォーキング企画など。

⑤ 富士山まちなか観光の発信

訪れる人の視点から情報を分かりやすく魅力的に整理・発信。パンフレットの設置方法の工夫、時刻表などのまちなかの移動手段の見える化、イベントカレンダーの共通化など。

このプロジェクトは、本スタンプラリーにも協力をし、富士山登山者を富士山のすそ野に広がる「富士山まちなか」にて歓迎するために、様々な情報提供などを行います。



2. 富士吉田みんなの貯金箱財団「貯金箱プロジェクト」について

(1) 概要

富士吉田みんなの貯金箱財団では、「やりたいことができるまち」をテーマに、地域で活動する方々を応援しています。人々がやりたいアイデアの実現を目指す過程では様々な課題に直面しますが、その一つに「資金繰り」があります。財団は地域への想いを貯金する「まちのみんなの貯金箱」としてお金を集め、必要としている活動や団体への支援に役立てます。

貯金箱プロジェクトでは、ご賛同いただいた事業者の店舗にて、売上の一部が市民活動への寄付となる商品やメニュー（寄付商品）を設定し、「富士山じかんプラットフォーム」を活用して情報発信を行います。寄付商品販売によって発生した寄付金は、事業者ごとに選択した助成先の活動・団体へ財団を通じて寄付されます。



(2) 参加事業者と利用ツール

富士北麓地域の32事業者（2015年7月1日現在）が参加しています。

参加事業者の店舗には、Beacon 貯金箱や周知用のPOP・チラシなどの設置や、商品やメニュー、スポットの詳細情報の発信支援等を行い、購買行動や経験向上等を促すことを目指します。

「富士山じかんアプリ」をインストールした来訪者が、Beacon 貯金箱を設置してあるスポットに訪れた際には、スポットや貯金箱プロジェクトの紹介など、各種の情報が通知されます。

また、観光案内拠点や市民が利用する公共施設等で、参加事業者を紹介する「富士山じかんカード」を配布し、富士山じかんアプリやWebでの情報提供とあわせて、訪問や購買等の行動を支援することも行います。



（参考）2015年度「まちのプロジェクト」

富士吉田みんなの貯金箱財団では、貯金箱プロジェクトの助成先となる2015年度「まちのプロジェクト（まちプロ）」を、2015年2月より公募し、選考の結果、下記4つのプロジェクトに決定しました。

富士吉田に映画館をつくる会 / テバタトラベル

路地裏の僕たち / CoCooking

3. 地域の魅力発信・活性化支援プラットフォーム「富士山じかん」とは？（2015年版）

(1) 概要

富士吉田市をはじめとする富士北麓地域は、富士山にまつわる文化や、富士山の恵みや水を活かした産業、富士山の裾野に広がる御師町の景観、昭和の歓楽街の面影を残す街並み、個性豊かな郷土料理や飲食店、暮らす人々の人柄や絆の強さなど、市民が育ててきた様々な魅力があらわれています。

こういった地域の魅力発信や、地域協働による活性化活動を支援するために、慶應義塾大学 SFC 研究所（場づくりマーケティング・コンソーシアム）は、富士吉田市の協力のもと、「①富士山じかんアプリ（スマートフォンアプリ）」「②富士山じかんWeb（PCとスマートフォン対応のWebサイトやSNSページ）」「③富士山じかんカード」「④Beacon 貯金箱」「⑤富士山じかんスタンプ」等の各

種ツールを組み合わせたプラットフォーム「富士山じかん」を準備しました。

このプラットフォームを活用し、富士吉田市・富士吉田みんなの貯金箱財団・富士吉田市地域おこし協力隊・慶應義塾大学の学生は連携協力をし、市民や地域団体、事業者等へ呼びかけ、地域住民や観光客等への情報提供や周遊支援の活動、地域の魅力向上活動の支援を行うための寄付商品の開発活動などに取り組んでいます。



(2) ツール紹介

① 富士山じかんアプリ（スマートフォンアプリ）

「富士山じかんアプリ」では、「ここにしかない時間」を実感できる数多くのスポットを集めて配信しています。写真と地図を使った直感的なナビゲーションで、富士吉田・富士北麓地域をご案内します。

[機能]

- ◆現在地から探す／目的から探す
現在地・目的から、富士山じかんスポットを検索できます。たくさんの写真の中からお気に入りをみつけて、旅を始めてみてください。
- ◆コースから探す
複数のスポットを巡るコースもご提案。どこに行こうか迷ったときには、コースもチェックしてみてください。
- ◆お気に入り
好きなスポット・気になる写真を見つけたら「お気に入り」に追加してください。あなただけの「富士山じかん」が保存できます。
- ◆イベント
富士吉田では、富士山にまつわるお祭や、歴史・文化・自然に親しむイベントがたくさんあります。歴史ある年中行事も、新しく生まれたイベントも、まとめて紹介します。
- ◆スタンプラリー
期間限定で、スマートフォンの画面にスタンプを押す新感覚のスタンプラリーを実施します。富士吉田市内を巡ってスタンプを集めましょう。
- ◆Beacon 貯金箱
まちなかのあちらこちらにある「ぶたの貯金箱」から Beacon を使って情報を発信しています。情報を受信すると、あなたのスマートフォンにお知らせが届きます。
※Bluetooth の設定を ON にしておく必要があります。
- ◆避難場所
災害時のために、富士吉田市のすべての一次避難場所と二次避難場所を掲載しています。

[動作環境] iOS7.0 以降、Android4.0 以降を搭載したスマートフォン

App Store にて提供（無料）：

<https://itunes.apple.com/jp/app/fujisan-jikan/id889799268>

GooglePlay にて提供（無料）：

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.ac.sfc.keio.fujisan>

[掲載スポット数] 93*（2015 年 7 月 24 日現在） *避難場所を除く

※ 掲載スポットは、慶應義塾大学の学生・研究員、市民ボランティア、地域おこし協力隊員による協働調査を通じて収集したもの、ならびに「貯金箱プロジェクト」に参加する事業者から提供されたものです。今後、適宜、スポットを掲載していきます。

[ダウンロード特典]

アプリ画面を提示で、「ふじさんミュージアム」と「富士山レーダードーム館」の入館が無料になります。

[画面イメージ・利用方法]

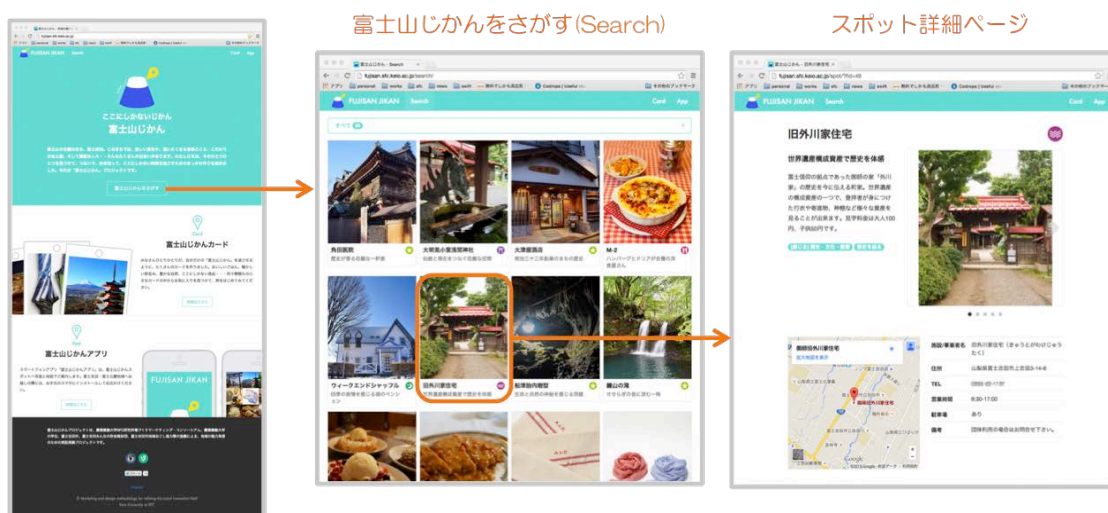


② 富士山じかん Web (PC 用サイト/スマートフォン用サイト)

[機能] スポットの詳細情報・地図の提供、各種ツール（アプリやカード等）の紹介

[URL] <http://fujisan.sfc.keio.ac.jp/>

[画面イメージ]



※ Vine や Instagram 等の SNS に対応したページも提供

富士山じかん Vine

<https://vine.co/fujisanjikan>

富士山じかん Instagram

<http://instagram.com/fujisanjikan>

③ 富士山じかんカード

[機能]

- ・富士吉田の魅力を表す写真やスポット情報を記した名刺サイズのカード。
- ・人々が集う拠点に設置した什器で多数配布。カードから見える個々の魅力発見や、カードを選びながら地域で過ごす「富士山じかん」をイメージできるようにする。

[掲載スポット数] 計 57 (2015 年 7 月 1 日現在)

観光 (景観・まち歩き) : 26

買い物・体験 (織物、雑貨、リラクゼーション) : 8

ごはん (食事、食べ歩き、食品) : 23

※カード情報は地域おこし協力隊・齋藤萌が収集したものです。



[掲載内容]

表面 : 写真、スポット名称、キャッチフレーズ

裏面 : 写真 (小)、商品・施設名、詳細説明、QR コード (富士山じかんアプリの詳細ページへ)、富士吉田みんなの貯金箱財団ロゴ (同財団への寄付を行った事業者に付与)

[配布]

什器 : 2 種類 (回転式什器・横置き型什器)

設置場所 : 道の駅富士吉田観光案内所、富士山駅観光案内所、富士吉田市立図書館、富士山駅待合室等

④ Beacon 貯金箱

富士吉田みんなの貯金箱財団のアイコンでもある「ぶたの貯金箱」に、BLE (Bluetooth Low Energy) の Beacon 発信機を内蔵。設置スポットに近づく、と、「富士山じかんアプリ」が反応し、情報を通知します。

Beacon からの Push 通知をきっかけに貯金箱を見つけて、寄付商品・メニューと出会うことができるものとしています。貯金箱財団への寄付を受け付けることも可能です。

「貯金箱プロジェクト」に協力する 32 事業者 (2015 年 7 月 1 日現在) に「Beacon 貯金箱」を設置し、情報配信を行います。 ※ 貯金箱タイプ以外の Beacon も、各所に設置予定です。

情報発信基地は「ぶたの貯金箱」

富士吉田みんなの貯金箱財団 (Piggy Bank Foundation) のアイコンでもある「ぶたの貯金箱」をモチーフにした、張り子の貯金箱。貯金箱の中には Beacon 発信機を取り付け、愛嬌たっぷりの貯金箱が、情報発信基地に。

Beacon からの Push 通知をきっかけに貯金箱を見つけて、寄付商品・メニューと出会う、まちなかのタッチポイントです。



Beacon を受信するとロック画面に通知が表示。店頭には寄付商品や寄付メニューの POP・チラシ等も設置。購買行動や経験向上を促すことを目指します。

Push 通知例



⑤ 富士山じかんスタンプ

富士山登山道のスタンプスポットや、まちなかに設置されたスタンプスポットで、スマートフォンの画面に表示させたスタンプ帳に、スタンプモジュールでタッチすることで押印ができます。

（参考）「富士山じかん」プラットフォームの活用（例）



ねらい

テーマ性のある
コミュニティ発の情報を提供

興味を促進し、
周囲の人へ広める／実際に訪れる
きっかけに

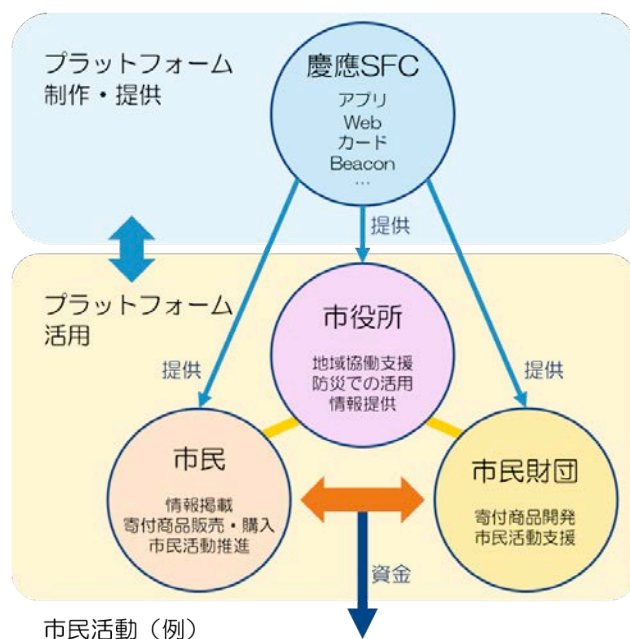
実際のお店での
コミュニケーション、繋がりや
継続的な情報発信、ファンづくり

ユーザが広く投稿、
シェア、交流できる仕組みで
新たなコミュニティを形成

効果

- 従来の観光情報とは異なる富士吉田のローカルな魅力への“気づき・きっかけ”づくり
- 情報提供だけでなく、実際の体験やまちの回遊につなげる
- 観光客だけでなく、地域の人にとっても、自分のまちを意識する／知るきっかけに

（参考）富士山じかんプロジェクトの推進体制



市民活動（例）



慶應義塾大学SFC研究所

＜富士山じかんプラットフォームの提供＞
アプリ／Web／カード／Beacon貯金箱 等。
＜活用モデルや知見の提供＞
地域活性化やソーシャルマーケティング施策の
助言。

富士吉田市役所

＜地域協働体制の構築・支援＞
地域の魅力向上や活性化推進のための活動や支援。
＜防災での活用／避難所情報提供＞
災害時の活用を想定し、一次・二次避難所の情報の
提供。

市民財団（富士吉田みんなの貯金箱財団）

＜寄付商品開発／市民活動支援＞
アプリやWeb等のプラットフォームを活用し、
事業者と共に寄付商品の開発を行い、地域内の市
民活動とマッチアップさせ市民活動に対して資金
供給を行う。

市民（地域団体・商工事業者等も含む）

＜情報掲載／寄付商品の販売・購入／市民活動の
推進＞
プラットフォームへの情報掲載と、寄付商品の販
売、商品購買を通じた市民活動への寄付、また市
民活動そのものの主体となる。

本発表資料に関するお問い合わせ先

慶應義塾大学 SFC 研究所（玉村研究室） E-mail：tama-sec@sfc.keio.ac.jp（担当：菅井）

富士吉田市役所 まちづくり戦略課 E-mail：senryaku@city.fujiyoshida.lg.jp

富士吉田みんなの貯金箱財団 E-mail：info@fpbf.jp（担当：齊藤智彦）

富士吉田市地域おこし協力隊 E-mail：contact@fujiyoshida-kyouryokutai.jp（担当：齋藤萌）

代表問い合わせ先 TEL：03-4590-0444 FAX:045-330-4343 ※ 折り返しご連絡をします